

# 平成 22 年度の地球温暖化対策について

～「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく主な施策の実施状況の公表について～

## ■地球温暖化対策推進経費

### (1) 市民・事業者の温暖化対策促進

本市では、特に二酸化炭素排出量の割合が高い家庭部門、業務部門及び自動車部門を重点三部門として、温暖化対策に取り組んでいます。このため、市民・事業者に対し、広報啓発による自発的な行動喚起につながる施策及び住宅や事業所等の省エネ改修支援等の助成制度による直接的に温暖化対策に資する施策に取り組みました。

#### ■福岡市地球温暖化対策実行計画（仮称）の策定

温室効果ガス排出量についての新たな数値目標を定め、地域特性を踏まえた地球温暖化対策に係る施策を体系化した「福岡市地球温暖化対策実行計画（仮称）」の策定に着手しました。

#### ■本庁舎他における壁面緑化（「朝顔のカーテン」プロジェクト）

地球温暖化対策及び花や緑による安らぎ感の創出を目的に、朝顔等による壁面緑化を実施しました。

- ・施設数：162 施設 ・緑化面積 約 5,900 m<sup>2</sup>
- ・平成 22 年度は各区の公民館等へ拡大実施。

【効果】約 115 トンの二酸化炭素削減（約 47 世帯分）



本庁舎（朝顔）



公民館（ゴーヤ）

#### ■地球温暖化対策をテーマとした「出前講座」の実施

- ・実施：48 回 約 2,300 人が受講

#### ■住宅省エネ改修助成事業

国の「住宅エコポイント制度」を活用した省エネ改修のための助成を行う。

- ・補助対象：住宅版エコポイントの対象工事のうち、自己の居住する住宅の省エネ改修工事を市内業者に発注するもの。（※新築対象外）
  - ① 窓の断熱化工事（省エネ法の省エネ基準に適合するもの）
  - ② 外壁、屋根・天井又は床の断熱化工事
  - ③ 上記①②と併せて行うバリアフリー改修工事
  - ④ 上記①②と併せて行う住宅設備（太陽熱利用システム、節水型トイレ等）
- ・補助金額：エコポイント数の 2/3（上限 10 万円/件） ・助成件数：858 件

住宅省エネ改修例



複層ガラス

#### ■事業所省エネ改修等支援事業

オフィスや事業所など業務部門の地球温暖化対策を促進するため、省エネルギー設備の導入や改修に要する経費の一部を助成する事業を実施しました。

- ・補助対象：市内に主たる事業所を有する中小規模の事業者等
- ・補助要件：既設の事業所等で、省エネルギー設備の導入や改修等を、複合的又は一体的に実施すること。
- ・補助金額：改修工事にかかる費用の 1/3（上限 5 百万円/件）
- ※但し、太陽光発電システムを導入する場合は上限 6 百万円。
- ・助成件数：30 件



(例) 省エネ型空調設備



(例) LED照明

#### ■省エネ講習会の開催

業務部門における省エネ対策を推進することを目的に、店舗、ホテル、工場、オフィスの管理者等を対象に「省エネルギー講習会」を開催しました。

- ・実施回数：2 回 ・参加者数：約 360 名

#### ■次世代自動車の普及促進

本市における次世代自動車普及促進を目的として、電気自動車及び充電設備設置に要する費用の一部を助成しました。

- ・補助金額：電気自動車購入：本体価格の 5%以内（上限 20 万円/件）  
充電設備設置：本体、設置工事費等に要した費用の 1/2 以内  
（普通充電・倍速充電は上限 10 万円/基、急速充電は上限 20 万円/基）
- ・助成件数：電気自動車購入：31 件、充電設備設置：7 件



電気自動車

## (2) ヒートアイランド対策

ヒートアイランド現象は、アスファルト舗装や建築物による地表面の人工被覆、産業活動や冷暖房、自動車等による人工排熱の増加等により、都心部に熱が溜まり、都心部の気温が郊外に比べて高くなる現象です。都心部の気温上昇に寄与している要因について、環境省の委託事業を活用したヒートアイランド対策に関する調査等を実施しました。

### ■ 都心部の人工排熱量の推計等（環境省委託事業）

都心部の気温を高めている要因として考えられるアスファルト舗装や建築物による地表面の人工被覆や冷暖房、自動車等から排出される排熱等の影響について、排熱量の調査・推計を行いました。

## (3) 新エネルギーの導入促進

家庭部門への対策の一環として、住宅用太陽光発電システム設置助成の拡大及び、新たに家庭用燃料電池等の設置について助成を行いました。また、市民に身近な公民館等へ太陽光発電システムの導入拡大を図るとともに、「緑の分権改革」推進事業において、高効率風力発電システムについて、本市における普及の可能性を検討しました。

### ■ 住宅用太陽光発電システム設置補助

- ・助成金額：1件あたり10万円
- ・助成件数：991件（募集件数1,000件）

<参考>住宅用太陽光発電システム設置補助実績

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度※
募集件数 (件)	150	200	200	750	1,000	1,000
補助実績 (件)	133	131	136	593	991	770

(※)H23年度は、8月末時点の申請実績



住宅用太陽光発電システム

### ■ 家庭用燃料電池等設置補助

- ・助成金額：家庭用燃料電池（通称：Eネーム）1件あたり10万円  
ガスエコ給湯器（通称：エコイル）1件あたり5万円
- ・助成件数：家庭用燃料電池（通称：Eネーム）75件（追加50件含む）  
ガスエコ給湯器（通称：エコイル）25件



家庭用燃料電池

### ■ 市施設への太陽光発電システムの導入

- ・導入施設：公民館、小中学校等21施設に設置（出力合計183kW）  
※累計119施設（出力合計1156.7kW）
- ・効果：約77トンの二酸化炭素削減効果  
※累計119施設の二酸化炭素削減効果約487トン

<参考>23年度太陽光発電システム導入予定

公民館、小中学校等13施設（出力合計74kW）に設置



女界島公民館

### ■ 高効率風力発電システムの検証

総務省委託の「緑の分権改革」推進事業を活用し、市内の太陽光、風力等のクリーンエネルギーの利用可能性等の調査及び平成21年度に九州大学と連携して導入した高効率風力発電システム「風レンズ風車」の市内普及の可能性を検証しました。



サイトもち海浜公園

## (4) 「エコ・ウェイブ・ふくおか」ストップ・ザ・温暖化

市民や事業者の省エネや省資源などの環境行動を促進し、ライフスタイルやビジネススタイルの転換を図り、低炭素社会をめざすため、以下の取り組みを行いました。

### ■ エコ・ウェイブ・ふくおか会議の運営支援

市内の主要な事業者・団体が、温暖化防止に自ら取り組み、広く他の団体や市民に共同行動の波を広げることを目的とした同会議の運営支援。（22年度参加18団体）

### ■ 地球温暖化対策特集号（市政だより12月15日号）の全戸配布

### ■ 地域との共働イベント開催 「天神スローナイト in ふくおかマルシェ」

7/16, 17 We Love天神協議会と共働で地球温暖化問題に関する啓発イベント「天神スローナイト」と旬の食材等を販売する「ふくおかマルシェ」の同時開催



天神スローナイト